

令和7年度大分県学力定着状況調査結果の分析と改善に向けて

1 調査の概要

(1) 実施期日

令和7年4月22日(火)実施

(2) 調査対象学年

小学校第5学年(日田市:458人) 中学校第2学年(日田市:469人)

(3) 調査内容

◇学習到達度調査:小学校第5学年 国語・算数・理科

中学校第2学年 国語・数学・理科・英語・社会

◇質問調査:学習に対する意識や生活についての実態等に関する質問

(4) 用語の説明

◇偏差値:個人や集団の相対的位置を、50を基準とした指数として表す指標。

2 結果の概要 ※数値は偏差値

【小学校5年生】

<教科全体>

	国語	算数	理科
日田市	50	50	50
大分県	51	52	51

<知識・活用>

	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
日田市	49	50	50	50	51	49
大分県	51	51	52	52	52	51

【中学校2年生】

<教科全体>

	国語	社会	数学	理科	英語
日田市	51	49	48	50	46
大分県	51	51	51	52	50

<知識・活用>

	国語		社会		数学		理科		英語	
	知識	活用								
日田市	51	51	50	48	48	49	50	49	47	46
大分県	52	51	51	51	51	50	52	52	50	49

3 質問調査結果について

(1) 生活習慣・家庭での学習習慣等に関する回答状況 (数値は肯定的回答の割合：%)

【自己認識・社会性等】

質問事項	小学校5年生		中学校2年生	
	日田市	大分県	日田市	大分県
自分なりにがんばったことを、先生がみとめてくれて、うれしかったことがありますか	81.2	87.4	80.2	86.8
自分にはいいところがあると思いますか。	74.1	74.8	66.6	70.0
将来、あんな人になりたい、こんなことがしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標がありますか	91.0	89.1	69.7	74.1
学校の授業では、となり同士やグループで話し合ったり、討論したりすることがありますか	83.3	87.0	78.2	88.1
学校のきそくや、クラスで話し合っ決めて決めたことを、守っていますか	91.2	91.7	90.0	93.5
お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか	77.7	74.8	71.2	69.7
クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか ※数値が高いほど、良好な回答。 「一度もない・ほとんどない」の割合	39.9 (48.4)	42.0 (47.5)	42.4 (48.4)	51.2 (56.1)

※下段の () は令和6年度の数値

【生活習慣・家庭での学習習慣】

質問事項	小学校5年生		中学校2年生	
	日田市	大分県	日田市	大分県
朝食は毎日食べていますか	88.3	89.9	85.3	87.2
朝は自分で起きていますか	62.3	68.1	70.8	74.0
学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか 【4日以上の割合】	39.2	51.5	47.1	59.6
家で勉強するときは、自分で計画を立てていますか	54.0	62.8	52.6	55.0
学校の授業の予習や復習をしていますか 【「いつもしている」「だいたいしている」の割合】	39.8	50.2	41.1	53.5
平日に、どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか 【2時間未満の割合】 ※数値が低いほど、たくさん使用している。 「まったくしない」「30分位」「1時間位」	30.5 (34.2)	37.1 (40.3)	10.4 (12.8)	20.2 (21.5)
平日1日どれくらいの時間、勉強をしますか。(塾含む) 【全くしない、30分位の割合】 ※数値が高いほど、勉強時間が少ない。	55.5 (51.1)	42.4 (41.2)	42.7 (35.5)	25.7 (23.9)

※下段の () は令和6年度の数値

(2) 学習に対する意識等に関する回答状況 (数値は肯定的回答の割合：%)

【教科に関すること】

質問事項	小学校5年生		中学校2年生	
	日田市	大分県	日田市	大分県
国語の勉強はどれくらい好きですか	63.7	62.5	62.9	60.0
国語の勉強はどれくらい分かっていますか	94.2	93.2	88.3	89.3
社会の勉強はどれくらい好きですか	59.4	60.2	55.9	60.2
社会の勉強はどれくらい分かっていますか	87.7	88.1	72.3	75.4
算数・数学の勉強はどれくらい好きですか	62.2	63.9	55.0	56.7
算数・数学の勉強はどれくらい分かっていますか	86.8	86.5	75.1	79.9
理科の勉強はどれくらい好きですか	78.4	76.2	65.1	68.9
理科の勉強はどれくらい分かっていますか	94.6	92.6	79.3	83.1
外国語・英語の勉強はどれくらい好きですか	76.4	74.2	40.7	49.8
英語の勉強はどれくらい分かっていますか			52.9	66.3

【授業での学習状況】

質問事項	小学校5年生		中学校2年生	
	日田市	大分県	日田市	大分県
クラスや友だちの間で、話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか	74.4	73.1	64.2	70.3
あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか	85.9	84.8	76.8	77.9
小学4年生までに(中学1年生のときに)受けた授業の中でめあてや課題が示されていたと思いますか	94.2	92.6	90.8	95.8
小学4年生までに(中学1年生のときに)受けた授業の最後に学習内容のまとめや振り返りを行っていたと思いますか	90.9	90.4	84.2	88.4
小学4年生までに(中学1年生のときに)受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	90.7	88.8	85.9	90.1
ICT機器(コンピュータやタブレット、電子黒板やプロジェクタ等)を使ったことにより、興味・関心が高まったり理解が深まったりしたことがありますか	87.1	90.7	79.3	87.7

4 現状と分析について

小学校

<現状>

(1) 結果

○偏差値<全体・知識・活用（3教科9区分）>は、全体で3教科、算数のみ3区分全てで50を上回った。

(2) 成果と課題（全国値との比較）

	成果が見られたもの	課題が見られたもの
国語	<ul style="list-style-type: none">漢字辞典の使い方文章を書く（7～9行、2段落構成、考えと理由）	<ul style="list-style-type: none">説明文の内容を読み取る（叙述をもとに文章の内容や段落相互の関係を捉える、要約）文章の構成を考える。考えと事例の関係を明確にして書く。
算数	<ul style="list-style-type: none">億と兆・がい数の表し方簡単な場合についての割合ひし形の作図	<ul style="list-style-type: none">四角形の向かい合った辺の性質の理解変わり方調べ（伴って変わる2つの数量の関係を式に表す）
理科	<ul style="list-style-type: none">天気のようにすと気温月と星	<ul style="list-style-type: none">水のすがた雨水のゆくえと地面の様子
質問調査	<ul style="list-style-type: none">自分なりに自信を持っている夢や目標を持っている近所の人に会ったときはあいさつをしている質問や意見を積極的に発言社会参画	<ul style="list-style-type: none">対人ストレス（不安感）学校の授業以外の平日の勉強時間テレビ・動画、インターネット、ゲームの時間先生の支え

<分析>

○1月実施の日田市実施分学力調査から、国語・算数でポイントが上昇した。

○算数において、AIドリルの活用が多い学校は、1月調査と比較するとポイントが上昇している。理科においては、全国値は超えているものの、AIドリルの活用が少ない学校は、1月調査と比較してポイントが減少した。算数と理科においては、AIドリルが効果的と考えられる。

○記述による解答形式の正答率が国語・算数において全国値を上回っており、各教科で根拠や事例をもとに自分の考えを書く活動や、ペア・少人数で自分の考えを伝え合う活動が、各学校で実践されていると考えられる。

○どの教科も3段階評定の1の割合が県に比べて多く、低学力層を引き上げる必要がある。

中学校

<現状>

(1) 結果

○偏差値<全体・知識・活用（5教科15区分）>は、全体で2教科（国語・理科）、国語のみ3区分全てで50を上回った。

(2) 成果と課題（全国値との比較）

	成果が見られたもの	課題が見られたもの
国語	・書くこと（作文） ・文法・語句に関する事項	・情報と情報の関係 ・表現の効果について、根拠を明確にして考えている
社会	・世界各地の人々の生活と環境	・歴史全般 ・資料をもとに考察し、表現する
数学	・絶対値	・比例・反比例 ・文字式 ・空間図形 ・データの分布の傾向
理科	・火山 ・地層 ・動物の分類	・地震 ・光、音、力の性質 ・身の回りの物質とその性質
英語		・リスニング全般 ・語彙の知識・理解 ・語形・語法の知識理解 ・さまざまな英文の読み取り ・単語並び替えによる英作文 ・場面に応じて書く英作文 ・情報に基づいて書く英作文 ・3文以上の英作文
質問調査	・挨拶をしている ・地域の行事に参加している。	・つらいことを家の人に相談できる ・先生の支え ・学級の絆 ・いじめを見て聞いて心が痛む ・対人ストレス ・学校以外の平日の勉強時間や日数 ・動画、ゲーム、インターネットの時間

<分析>

○1月実施の日田市実施分学力調査と比較すると、数学は1ポイント、理科は0.6ポイント下降傾向にあるが、他の教科は維持または上昇している。

○英語は、33問中32問で県・全国値を下回っており、深刻な課題ととらえる。特に、「書くこと」の領域において、無回答が県に比べて数値が高い。しかし、1月実施分より約2ポイントアップしており、授業改善は少しずつ進んでいると言える。

○5段階評定の2の割合を県と比べると、国語以外の教科で割合が非常に高く、低学力層を引き上げる必要がある。

5 今後の取組について

学力調査は、教員や児童生徒に対して学力の土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員の指導改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上に役立てる目的として実施している。

つまり、実施した結果数値よりも、原因分析と改善方策が大切であり、何が足りないのか、児童生徒の学力のために授業、それ以外において何が必要なのかを考え、実践する必要がある。

今回の結果から、子供達からのメッセージをしっかりと受け止め、組織として改善のために取り組まなければならない。

①【授業改善】

全ての児童生徒が「わかった」「できた」と感じる授業づくり

(仮説)

低学力層（小学校は評定1、中学校は評定1・2）の児童生徒が学びに向かうような授業を実施すれば、愛好度や理解度が維持・上昇し、1月調査において偏差値が上昇するのではないだろうか。

- (1) 子供の実態を総合的な数値だけでなく、個人を見つめなおすために、評定別の一覧表を作成し、校内で共有する。
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びを適切に使い、全ての児童生徒が学びに向かう授業を実践する。※可能な限り、少人数、習熟度など授業形態を工夫する。
- (3) 授業を自分ごとにするために、めあてを作り、振り返りをする。
- (4) 定着状況を把握するために、見取りを確実に行う。
- (5) 1 2月調査において、低学力層の児童生徒の変容を把握し、取組の成果や課題を分析する。また、2学期末の学校独自アンケートで、教科の学習が「好き」「わかる」の変容を把握する。

②【帯学習】【補充学習】【家庭学習】

帯学習で、継続して基礎基本の力を培う。

補充学習と家庭学習で、確実に学習を定着させる。

(仮説)

意図的な【帯学習】【補充学習】【家庭学習】を継続して実施し、児童生徒が「できた」と感じる機会を確保すれば、理解度と愛好度が上昇するとともに、基礎基本となる知識技能が定着するのではないだろうか。

- (1) 組織的・継続的に AI ドリルに取り組み、知識技能を定着させる。
- (2) 授業時間内の帯学習、時程内の帯学習を計画的に実施し、継続することで力をつける。(例) 帯で AI ドリルを行い、補充が必要な子供には直接指導を行う。
- (3) 各学習において、教科の課題を分析し、何のために何をするのか、目的を持たせて実施する。
※条件作文、単語テスト、音読など、積み重ねれば目に見えて力がつく。
- (4) 自分の学びを向上させたり、振り返ったりすることのできる家庭学習を、習慣となるように継続する。

③家庭との連携

(仮説)

学校が、児童生徒の学力や学習状況と改善策を知らせ、家庭と共に学習指導や学習状況の改善に取り組めば、家庭では、自ずと勉強の話をする時間が増え、児童生徒の学習の時間が長くなるのではないだろうか。

- (1) 学力低下の一要因として考えられる「家庭での学習習慣に関する質問」や「家庭でのメディア使用時間に関する質問」の数値を機会がある度に家庭へ発信し、課題に対する協力を依頼する。
- (2) 懇談会などで家庭学習についての話題を取り上げ、「家庭で、勉強についての話をする時間を作る」など、学校と保護者と共に取組について考える時間を作る。
- (3) HPへの公開、学校だよりなどを活用し、地域へ現状を知らせる。
- (4) 学力向上会議や学校運営協議会での議題に取り上げ、メディアルールを作ったり、家庭学習時間チェックをしたりするなど具体的な対策を講じる。
- (5) アンケート、実態調査などから変容をとらえ、学力の変容と共に報告する機会を作る。

<参考>

○家庭での学習習慣に関する質問では、県との比較、昨年度との比較ともに、課題がみられる。年々、よくない傾向に進み、県との開きが大きくなっている。家庭学習の内容を見直し、家庭と連携して改善を講じる必要がある。

質問事項	小学校5年生		中学校2年生	
	日田市	大分県	日田市	大分県
学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか 【4日以上割合】	39.2 (51.1)	51.5 (52.9)	47.1 (45.4)	59.6 (57.6)
平日1日どれくらいの時間、勉強をしますか。(塾含む)【全くしない、30分位の割合】 ※数値が高いほど、勉強時間が少ない。	55.5 (51.1)	42.4 (41.2)	42.7 (35.5)	25.7 (23.9)
平日に、どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか【2時間未満の割合】 ※数値が低いほど、たくさん使用している。	30.5 (34.2)	37.1 (40.3)	10.4 (12.8)	20.2 (21.5)

※下段の()は令和6年度の数値。

●各学校による調査結果の分析と具体的な対策の作成及び取組

- ・各学校は8月20日までに調査結果を分析し、成果と課題を明らかにしたうえで、授業改善等の具体的な対策を講じ、2学期から取組を始める。

●研究主任会の開催（オンライン）

- ・日田市が目指す組織的な授業改善及び学力調査結果をもとにした授業改善に関する説明を開催する。
- ・2学期の3つの仮説検証の取組の進捗状況を交流する。

●日田市の指導教諭等に学ぶ取組

- ・日田市の指導教諭の互見授業に合わせ、授業公開を設定することで、授業実践に実践の内容説明、参観者からの質問時間を加え、身近な所から学ぶ機会を作る。
- ・各学校における効果的な校内研修や、日田市の夏休みセンター研修を録画し、オンデマンドで研修ができる機会を作る。

●他市町村に学ぶ取組

- ・参考となる他市の視察に行き、好事例を取り入れる。
各学校において、または、教科部会等を通じて共有を行う。

●教科部会で授業改善研修の実施

- ・全教科担当者が参加する場において、大学教授や県の指導主事を招き、授業研究会の中で指導助言をいただく。
- ・課題のある英語に関しては、ALTの活用研修や実践や情報の共有のための研修の機会を作り、指導主事が積極的に働きかける。